

開講科目名 / Course	成人看護援助論（慢性期）	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 雄二	
担当教員名 / Instructor	佐藤 栄治、古賀 雄二、岩下 恵子、井上 陽士	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	慢性の健康問題をもつ成人期にある対象の身体的、心理・社会的特徴を理解する。また、慢性疾患の疾病コントロールにより社会生活の継続もしくは生活の再構築を目指す対象の健康問題およびセルフケア確立に必要な援助方法について学ぶ。	
到達目標	1. 慢性疾患に伴う健康障害をもつ対象の身体的・心理的・社会的特徴について述べるができる。 2. 慢性疾患に伴う健康障害をもつ人の治療・療養行動への支援について、主な理論・概念を用いて説明できる。 3. 代表的な慢性疾患を有する対象への援助方法について述べるができる。 4. 療養の場の移行に関する社会資源・サポートシステムについて説明できる。 5. 療養の場を移行する慢性疾患に伴う健康障害をもつ対象に対し必要な援助方法を述べるができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	01. 慢性疾患の特徴と慢性疾患をもつ人と家族の理解、慢性期疾患をもつ人の看護援助 セルフケアとは 行動変容に関する看護理論 02. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 呼吸器系 03. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 腎・泌尿器系 04. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 代謝・内分泌系 05. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 血液・免疫系 06. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 股関節、膝関節疾患 07. 慢性疾患に伴う健康障害と看護 循環器系 08. 慢性期の患者を支援する看護（事例を用いたグループワーク）、まとめ	
その他の授業の工夫	臨床事例から看護実践の意味付けや重要性の再認識につながるように工夫している。学生が相互に考えを共有し、コメントできる掲示板を提供し、意見交換の活性化を図る。	
時間外学修	事前学修：講義開始までに予習するテキストの該当箇所が教示される。講義冒頭に内容理解に関する小テストを行うので、準備をしておくこと（10h）。 事後学修：毎時、講義終了後に内容の理解の確認する課題小テストを課す（12h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（70%） 事前・事後課題（25%）：第1回～第7回目 事前学習小テスト 1-2点/回（計11点）。第1回～第7回目 事後課題小テスト 2点/回（計14点） 授業への積極的な参加態度、グループワークへの貢献度（5%）	
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院） 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2,3,4,6,8,10]（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	必要に応じ、ハンドアウト資料を提示する。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	古賀雄二：病院の看護師 佐藤栄治：病院の看護師 岩下恵子：病院の看護師 井上陽士：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	慢性疾患をもつ成人期にある対象者への実践経験を活かし、学生の興味関心が高まるよう事例紹介や事例検討を取り入れた講義を行う。	